

設計

品名
 SCW75-1.2 (t=1.2) SCW75-1.6 (t=1.6)

材質
 SDP2G-Z12 SDP2G-Z27

単位: mm

形状・寸法

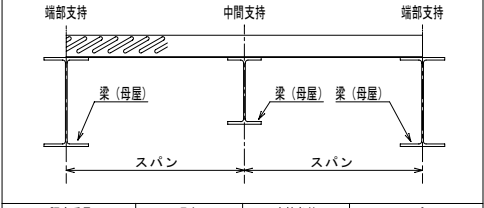
種類
 焼き抜き栓溶接 発射打ち込み板 ドリリングタッピンねじ

適用板厚
 $T \geq 6.0\text{mm}$ ※T=梁(母屋)の板厚 $T < 6.0\text{mm}$

注記
 SPW 溶接径 $\phi 18\text{mm}$ 以上 $\phi 4.5\text{mm}$ 以上 国土交通省 材料認定品 $\phi 5\text{mm}$ 以上x20mm以上

せん断耐力
 長期 4,900N/1個 (t=1.2) 3,300N/1本 (t=1.2) 長期の1.5倍
 7,350N/1個 (t=1.6) 4,300N/1本 (t=1.6) 長期の1.5倍

耐火仕様



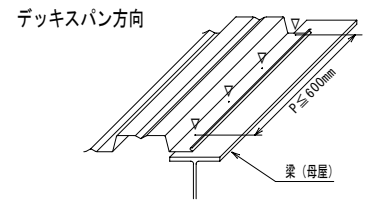
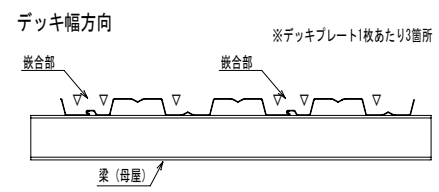
認定番号	品名	支持条件	スパン
FP030RF-0210	SCW75-1.2	単純支持	3.0m
	SCW75-1.6	連続支持	3.0m

注意事項

(注1) スパンは、梁(母屋)の中心間距離とする。
 (注2) デッキプレートと梁(母屋)の接合は、焼き抜き栓溶接、発射打ち込み板、またはドリリングタッピンねじとする。
 (注3) デッキ相互を嵌合とし、必要に応じて溶接またはねじ止めを行なう。
 (注4) 梁(母屋)に耐火性能が要求される場合は、それらに応じた耐火被覆をする。

梁(母屋)との接合方法

接合箇所



※▽: 接合箇所
 (ただし、本図の接合箇所数は耐火認定上最小限を示すもので、設計条件に応じた接合箇所数の検討が必要です。)

標準納まり図

デッキ幅方向

小梁(母屋)まわり
 小梁(母屋) 小梁(母屋)
 デッキ端部(嵌合部) デッキ中央部

大梁まわり
 大梁 大梁
 デッキ端部(嵌合部) デッキ中央部

デッキスパン方向

小梁(母屋)まわり
 50mm以上 50mm以上
 小梁(母屋) 小梁(母屋)
 デッキ端部支持 デッキ中間支持

大梁まわり
 50mm以上 50mm以上
 大梁 大梁
 デッキ端部支持 デッキ中間支持

柱頂部まわり

仕口 仕口
 柱

パラベットまわり

垂鉛鉄板(L字曲げ)
 50mm以上
 1山品 小梁

施工

①計画 工程・工法・デッキ割付計画

②搬入・揚重・仮置・保管 a) 揚重は2点吊りとし、ワイヤーでデッキを傷つけないようにする
 b) デッキは梁に安全な状態で仮置きし、風等で飛ばされぬように養生する

③墨出し a) 梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする
 b) デッキ受け材の有無を確認する

④敷込み・仮止め a) デッキ相互を嵌合させる
 (必要に応じて、嵌合部をスパン毎に数箇所溶接・ビス止める)

⑤梁(母屋)との接合 a) 焼き抜き栓溶接 (SPW) は以下に従って施工する
 i. 溶接条件及び溶接機仕様

溶接作業資格	JIS Z 3801基本級以上 又は JIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料	低水素系溶接棒 $\phi 4\text{mm}$
溶接機	JIS D 4316 又は JIS D 5016
	交流アーク溶接機 AN250A以上
	エンジン溶接機 230A以上
標準デッキ板厚	1.2~1.6mm
標準フランジ板厚	6.0mm以上
溶接電流	190~230A (標準 210A)
溶接電圧	
アークタイム	8~12sec
溶接径	18mm以上

b) 焼き抜き栓溶接選棒方法

⑥検査

開口部補強案

イ: 開口の大きさが $\phi 150\text{mm}$ 程度以下の場合 山形鋼 ロ: 左記を超える開口の場合
 ……梁などで支持する

開口がウェブにかからない ……補強不要
 開口がウェブにかかる ……山形鋼等で補強

アクセサリ

耐火被覆用メンド
 ……梁とデッキ下面の山部開口に使用します

b) 発射打ち込み板は国土交通省も材料認定を取得したものとし、メーカーの標準施工要領に従う
 ※材料認定を受けたメーカー
 日本ヒルティ株式会社 ……認定番号 MP/IN-9001
 日本ドライフィット株式会社 ……認定番号 MP/IN-9002
 c) ドリリングタッピンネジは以下に適合するものを使用して施工する
 JIS B1124 タッピンねじのねじ山をもつトルネロねじ